
しろはく活動記録

古地図と城の泉 第8号

平成26年8月1日

しろはく古地図と城の博物館 富原文庫

城郭現地調査報告及び資料調査

博物館事業報告

1・消えた城・内出城の現状確認調査報告

内出城跡調査報告(安中市東秋間)2014年6月30日調査7月1日－22日地図資料調査

A 内出城は新幹線安中榛名駅徒歩15分、駅前住宅地に隣接する遺跡である。この地域のもっとも古い実測図は陸地測量部の正式2万分1『下室田』図幅であるが、城跡の痕跡は表示されていない。以降、2500分1国土基本図まで、この地域全体の大縮尺の測量はされていない。所在地は標高573mの石尊山の支峰307m峰から南さらに東南に延びる尾根が秋間川にぶつかる地点、秋間川支流、南の久保川と北の神水川に挟まれた舌状台地先端、馬場集落の尾根上部に構築されている。城跡としては、群馬県古城址の研究下巻に山崎一の縄張調査があり、宅地造成前に安中市教育委員会によって、主要部の発掘調査と測量がされ記録保存されている。又、破壊後の現状について、宮坂武男の報告がある。

B 山崎の調査によれば、東西100m、南北70mの主郭と西北の北防衛ラインのない東西60m、南北90mの郭、本文には説明がないが東南に第3の空堀が描かれ、第2郭としている。主郭と西北の郭の東西に帯郭、主郭尾根方向を70mの土塁と空堀で遮断、土塁上東北部は櫓台、第2郭との間に100mの空堀、空堀中央虎口西に横矢のかかる喰い違い、喰い違いの折の主郭部は櫓台としている。虎口外に喰い違いと連携して半月状の郭を指摘している。さらに、下って80mの地点に空堀を描き、以下を馬場としている。主郭西北部は一段高く造成されている。

C 1996年安中市教育委員会が宅地造成前に調査した時点では、主郭南部はすでに造成され、新たに消滅する北部、主郭中心部の発掘調査と主郭及び半月状郭の測量が実施された。顕著な遺構である主郭の西北土塁(高さ7－8m、天端巾6－7m、長さ80m)、櫓台(6×16m)、空堀(上部巾12m、堀底巾2.5m、長さ85m)は当時現存しており、主郭東南部の喰い違い空堀と虎口は消滅している状況にあった。

発掘調査によって

- 1・西北巨大土塁内側に上巾7m、下巾1.5m、深さ3m、長さ60mほどの第2空堀
- 2・主郭西北台地上に土塁、東内側に3m×3.7mの古い空堀

3・西北巨大空堀は巾10m、深さ5m、中央に木橋の柱痕

4・主郭外側東北部に巾6、5m、深さ3mの横堀が発掘され、西北巨大空堀80m及び、主郭東南喰い違い堀ともつながり、空堀は主郭西北から、東北、東南まで、西を除き囲われるとしている。

5・土塁上の東北櫓台は高さ4m、西北にも櫓台の可能性

D 宮坂武男の平成2008年調査は破壊後で、遺構は喰い違い堀の東端に残すのみである。

2014年6月30日現地調査を実施、現存遺構を確認。

宮坂の指摘通り、現地は2度にわたり、宅地造成され、主要部の遺構は痕跡をとどめていない。ただ、破壊された台地上の遺構に対し、台地壁の切岸はよく残存しており、要害の堅固さを知らしめる。現存遺構は下記の通り。

A・喰い違い空堀東端部の空堀と主郭側及び半月堡側の切岸

B・主郭東北部南側の切岸、西南部の切岸と西部から西北空堀へのの通路と思われる帯郭

C・主郭東南部尾根の南北に武家屋敷まで台地全体に切岸

D・半月堡東部の大手につながると考えられる古道と郭群、土塁

特に半月堡東部遺構は台地下から巾1m余りの古道が繋がり、半月堡東部を迂回して喰い違い虎口東部の大手口から主郭に入る主要通路と考えられる。

以上の調査から、内出城をまとめると

1・主郭は上下二段に別れ、上段の郭は35x55mで、西北部に空堀、東南部に下段からの通路が存在、東北側には古い時期に台地上に空堀が存在した。発掘された空堀は城郭全体の遮断線と考えられ、2重堀とされたが、規模の違いにより、主郭上段のみの防衛線と考える。又、東北部に土塁が残存していたという測量結果からあるいは周囲が土塁で囲われた郭を想定できるかもしれない。本部分は壊滅しており、現状からは考察不能である。

2・主郭下段は西北の尾根を巨大空堀で遮断、中央に木橋が想定され、内側土塁中央を越えて、主郭上段空堀を迂回して、主郭東南部から主郭上段内部に入ったものと想定される。巨大土塁は東北と、西南に櫓台があり、西北尾根上の敵と東西断崖からの攻撃を防御する。主郭東南部の遮断線である喰い違い空堀はすでに消滅しているが、空堀東端の遺構から巾15mほどの巨大な空堀が想定され、中央に虎口があり、虎口西に喰い違いがある。おそらく、土塁と空堀の存在が想定され、最も強力な防衛線となる。喰い違いからは虎口に突入する敵に対し、横矢がかかる他、虎口外部の半月堡は敵が半月堡外側を通り、喰い違いの前から横矢のかかる虎口に入るように巧みに考えられている。

3・半月堡は主郭の馬出のような役割で、現在、残存地形から其の場所を確定できる。東部断崖からの登城路は此の外側から虎口に達する。城域は西北空堀から半月堡までとして、125x160mの規模である。

4・第2郭といわれる空堀は確認できないが、尾根全体に断崖面に切岸があり、おそらく、現在、小学校となる台地先端の手前まで武家屋敷等段差によって、防衛線が構築されたと思われる。武家屋敷群を含めた規模は西北の一角を含めて、台地端まで180x500mに及ぶ。

内出城は城郭の中心線である舌状台地上は過去の宅地造成により、安中市の調査時点で主郭中央より東南は遺構をとどめず、新たな宅地造成により、主郭中央より西北方向の遺構、最も顕著な主郭西北の尾根を遮断する大規模な空堀と土塁は完全に崩壊し、痕跡をとどめていない。しかし、尾根の台地上は破壊されているが、台地の東西法面、壁には造成を免れた帯郭や空堀の一部、古道等

が今も存在する。それらは存在するが造成された民家の所有地となり、自由に視察することは難しい。唯一、主郭東南巨大空堀の東端部は道路に面しているため、空堀や主郭側、半月堡側の切岸を明確に観察することが出来る。今回新発見の顕著な遺構は主郭東南空堀の東に存在する竹藪の中に古道、郭、土塁が残されていることである。古道は崖下で水路により消滅するが、東城外から半月堡に繋がり、本丸虎口から城内への通路と推定される。これらの遺構は安中市教育委員会の測量範囲外であり、これまで、遺構の存在は確認されていない。

縄張図面と復元想定図を何れ提供したい。

2・津和野藩海防軍役陣立帳の発見

『浦手書類』文政八乙酉年九月改従御在所来候（1825年）

石州津和野藩海防軍役帳 11冊共木箱1箱

本軍役帳は小型の塗木箱に入り、墨書きで『浦手書類』と記され、箱裏に上記年号が記され、9年後に改訂されている。幕末の海防資料、詳細な陣立て帳11冊であるが、永年、その地域を特定できず、古典籍専門店を多く悩ましてきた。小生も10年前に調査をしたが、特定できなかった。藩内資料にはよくあることで、藩名を表示する必要がないのである。しかし、制作者が特定できなければ、資料として活用することは出来ない。

今回再度、すべての文字を検証した結果、11冊中わずか1冊のみ、1か所に飯浦の記事があり、調査の結果、飯浦は島根県の西端、長州に隣接する益田市飯浦町、幕末は津和野藩の領域と判明した。飯浦は後1か所、琵琶湖竹生島にもあるが、海防内容と整合しない。幕末長州と隣接し、その優れた軍事力に隣接した津和野藩であればこそその記録といえる。

11冊中6冊の表紙、2冊の表紙裏に「天保5年（1834年）再調増人数黄紙二而書入済 湯新兵衛」の張り紙があり、本文中に黄紙で修正がされている。貼紙のないのは修正の必要のない法令類である。作成者、修正者の湯新兵衛とも津和野藩海防当事者と考えられる。

以下順不同 浦手書類目録

- 1 『御軍役 陣中法度』7丁14頁、24か条文、一揆蜂起時下知等
- 2 『御軍役 御軍法大意』9丁18頁、21か条文、物見敵情視察等
- 3 『御軍役 兵賦法令』4丁8頁、12か条文、隣国一揆異国船漂着対応等
- 4 『浦手 解人数積』17丁34頁、一番手之内～、急速御人数出張、以下詳細役割人数明細記入、徒士目付、郡役、大目付、伊賀、大工棟梁、具足長持、物頭、儒者、足軽、馬廻計327人の明細
- 5 『浦手 定書』19丁38頁、家老定47か条、異国船漂流二付相図明細記入、東御門番所板木、時打櫓板木鐘等6か所、若党、小頭、中小姓等役割、
- 6 『急御手当一番手残人数行列帳』39丁78頁、以下陣立て、長柄、騎士、火術役騎士、大銃打、火術役、大銃打、医者、外科、馬印、鐘、貝吹、太鼓打、指物、隊長、横目、大目付、筆者等
- 7 『浦手御手当 一番手 乾』29丁58頁、覚、留守居役、組足軽、横目、賄方、一番手行列以下陣立、徒士目付、郡役、指物、物頭、6匁銃小頭、10匁銃足軽、指物、騎士、火術役、大銃打、10、20、30匁銃等付属長持、家臣一人一人詳細記入
- 8 『浦手御手当 一番手 坤』表紙には間違い乾の題箋貼り付け、32丁64頁、以下陣立て、火術役、大銃打、筆談役、医師、外科、右筆、長柄、指物、大目付、大工、馬印、貝、太鼓、鐘、指物、隊長、横目、軍法者馬廻、大目付、筆者等の周りに従者、長持等
- 9 『急御手当一番手解人数行列帳』28丁56頁、覚、留守居組、組頭、横目、賄方、宰料の明細、以下陣立て、徒士目付、郡役、指物、大目付騎馬、新組、大工、物頭騎馬、6匁銃小頭、10

勿銃足輕、指物、物頭騎馬、筆談役、右筆、軍法者馬廻、

10 『浦手御手当 二番手』16丁32頁、以下陣立て、騎士、火術役、大銃打、6 勿銃小頭、6 勿銃足輕、指物、物頭、(右上に7cm右上から下に4cmの破損あるも陣立ては中央に描かれるため文字に影響はない)

11 『浦手御手当 三番手』32丁64頁、以下陣立て、指物、物頭、6 勿銃小頭、10 勿銃足輕、騎士、火術役、大銃打、御旗、馬印、貝、太鼓、鐘、指物、隊長、横目、右筆、(右上より、左と下へ各10cm斜めに傷み在るも陣立ては中央に描かれるため、文字の部分は傷みが及ばない)

全ての本に虫損あるも判読に影響はない。幕末国難の時代に津和野藩が如何に対応したか、切迫した状況をうかがい知ることが出来る。



3・明治古典会七夕古書大入札会参加

上京してから城郭古地図コレクターとして30年間、お世話になった日本最大の古書入札会の一つであるが、昨年入会した群馬県古書組合の古書業者、古地図と城 城郭文庫としては初参加である。基本はコレクターが古書業者に依頼する置入札を今度は自分で札を入れる事、翌日、すべての改札結果を確認できること、番号を書いたパドルを上げることでオークションに参加できることである。一般の競り市では発声しないと価格が上がることはないので考える時間がわずかあるが、パドルは上げている間、振り人が自動的に価格を上げる。パドルが一人になれば終了となる。入札と違い最後までパドルを上げていれば必ず買えるが、価格は無限に上がっていく。眼力と自制心がなければ生き残れない世界である。スリルと全国の専門業者さんの底力に感心させられ、生き残れる古書業者の専門分野と見分けがつかしました。コレクターとしては最大の収穫ですが、概ね全国を回っていた時代の認識で正しいようです。日本の古書業界、なじみの北海道から九州まで、京都、大阪、神田の老舗が周りに陣取っておられました。ただ、皆さん高齢化されているのは驚きました。こちらの収集歴が54年では当たり前です。唯一断念なことは、地図コーナーが集まりが悪く、廃止されたことでした。そろそろ古地図と城 城郭文庫として日本最大の古書肆を目出す自覚が必要かもしれません。貴重資料の処分、入札参加のお手伝いは出来ます。

落札出来た資料

安政2年蝦夷地全図・明治2年英国歩操新式5冊・明治10年熊本籠城日記写本・明治4年大日

落札できなかった資料

帝都大観・加賀国金沢市街図木版色刷・明治7年北河総図・日米初度応接之図説・文化2年島原城御留守日記10冊・慶応4年賤ヶ岳古戦場之図・大坂城陣立図（単なる合戦図）・加賀国金沢城下絵図・玄々堂銅版画諸国名所42枚

以上です。双六類が小生の販売価格より高値で落札されていました。又、どういう錦絵が高額であるのか、勉強させていただきました。2日間見るだけで疲れましたが、城郭関係の古絵図、基本資料は島原城日誌のみでした。

4・鷹の目狩人XⅨに古絵葉書に魅せられて

城郭絵葉書に関心が高まっています。掲載紙コンバーテックの7月号が公開されましたので、城郭関係者で本報告受信されている方にメールをお送りします。(7月9日) その他の号も掲載後は必要な方にメールでお送りします。

5・真田氏歴史館大坂冬の陣真田丸展来場者配布資料

**大坂
冬の陣**

真田氏歴史館
夏の企画展

大阪の陣 真田氏ゆかりの名品や、
描かれた真田丸に迫る。

真田氏歴史館
夏の企画展

Osaka Fuyuno-jin

[第1部] 2014.7月19日[土]—9月1日[月]
参勤にみる大坂の陣
吉野園・布陣図にみる大坂城周辺と真田丸の奇襲
澤田平氏 ミュージアムトーク
8月3日(日) 午時13時～15時 無料参加/定員50人
申込 真田氏歴史館受付係
申込期 7月11日(金)まで先着順(申込用紙は別送)

[第2部] 2014.9月6日[土]—11月3日[月]
甲斐にみる大坂の陣



資料の貸し出しは可能でしたが、20日までの平和島と1日からのジャンボリーに影響され、準備のため、7月は展示会場にお伺いできませんでした。8月7日旧軽井沢公民館骨董市、追分宿骨董市と兼ねて、上田まで見に行き、上田市立博物館、池波正太郎真田太平記館を回ってきます。軽井沢は安中市に隣接する隣町です。

6・東京流通センター平和島古民具骨董市7月17-20日

7・東京ビックサイト骨董ジャンボリー8月1日-3日

日本最大の2大骨董市に参加します。平和島では1570年や1589年のオリテリウスの東インド図、太平洋図に注目が集まりました。全世界から来場がありましたが、注目の横浜絵10枚はアメリカの方が求められました。開発前の横浜地図はほとんど出ません。多くの骨董業者さんが地図と城資料を全国から持ってきてくれました。通常の守備範囲は東日本、名古屋以东ですので、ありがたいです。骨董ジャンボリーや次回9月の平和島に多くのリクエストをいただきました。シーボルト事件の高橋景保著、亜欧堂田善銅鑄の文化6年刊、『新鑄総界全図・日本邊界略図』の要望がありましたが、知人の所有品はすでに販売済みとのこと、持っておられる方お譲りください。出展内容を来場者から聞かれた韓国や中国の方から次回来場の確認電話も帰宅早々いただいています。展示品では中国、朝鮮古地図、燐票、リトグラフ、錦絵、江戸切絵図、引札、瓦版、夢二やミシャのカレンダー、日本と世界の銅版地図等歴史美術系が好評でした。骨董ジャンボリーは日本全国の古地図を展示します。

8・古書同好会目録に参加2回目8月末発行予定

次回の古書同好会には古書、古典籍、古文書をまとめて250点掲載します。城郭関連以外の資料はすべて放出します。主な掲載品は会津若松城下絵図屏風、安中原市文書、津和野藩海防資料、聖パウロ原書、静岡井伊谷大明神家文書、戦前新聞題字1220枚、団々新聞53冊、大日本租税志、義経勲功図会、訓閲集、龍野志、太平記、日本百将伝抄、通俗宋史軍談、日本思想史体系全六

十七冊、英国歩操新式、五か国御貿易場、蝦夷地全図、通俗三国志、校正四戦記聞大全、三河後風土記、南朝太平記、海防秘話、嘉永六年ワシントン船浦賀着港、漂流記反古寿、静岡県豊田郡友引村絵図10枚、秩父郡金沢村巨大絵図、ポンペイ銅板挿絵77枚、1832年アイルランド、肉筆江戸切大型絵図10枚、下野国那須郡小瀧村裁許絵図、明治初期習志野原演習場測量図、改良横浜全図明治28年、東京都1万分1白図44枚、江戸城西ノ丸紅葉山探幽絵図写、明治4年東京本町家並図巻、佐原町地租改正絵図資料1箱、千葉県中田村検地帳分限帳70冊、長崎土産、沓掛追分助郷文書135通、上都賀郡栗野村論処絵図、中頸城郡山直海村明治測量野帳絵図100冊余、目録希望の方は事務局かんばら書房まで03-3390-0983

新収集情報報告

掲載は入手順に入手後、翌日に記載しています。メモ代わりの備忘録ですので順不同です。

1・古絵図・古地図

金比羅大権現絵図 木版色刷 成功堂蔵版 37 x 48 cm

播磨国石宝殿真景 明治27年 木版 36 x 48 cm

大和国多武峰談々神社之図 銅版 35 x 48 cm

松江市史史料編11絵図地図 別刷絵図に国絵図、城絵図、海防図(台場図)、市街地図等25図を含め65図と解説。なお、**松江城編**も企画されているが、発行は平成30年とのこと、一応発注しておいた。

明治元年10月刻大日本壽海全図 銅版全100図 大阪—九州、江戸—小笠原、東海道—南海道、対馬—九州西岸、琉球列島、九州東岸—四国、山陰—北陸、越後—東北西岸、蝦夷—樺太、千島、東北東岸—安房に至る全国の海岸線を航路とともに細密画。樺太千島は詳細。

安政6末年3月改板東海道神奈川御貿易場 木版 22 x 60 cm

蝦夷地全図 安政2年8月 春樹堂蔵 木版色刷 87 x 98 cm

信濃国全図 木版色刷 松本高美屋甚左衛門 94 x 200 cm 城主により安政6年から慶応3年の刊行 落ち着いた重厚な絵図

新町名番地図旧表猿楽町神保町一丁目西神田一丁目 昭和9年 表猿楽町会 46 x 64 cm

江戸切絵図近吾堂版 日本橋南芝口辺地図・麻布広尾辺・大久保外山辺・小日向小石川牛込北辺

江戸切絵図尾張屋版 東都小石川絵図

名所画入明治東京全図 明治17年 銅版色刷 極美 木版袋付 47 x 70 cm

新案測量東京全図 明治34年 55 x 79 cm 石版色刷

海外旅行地図1960年頃 WIESBADEN・RAVENSTEIN・MIRANO・ZURICH・AACHEN・COPENHAGEN・MAGYAR・BAMBERG・CESKOSLOVENSKO・HOLLAND・GOSLAR・PARIS・ZAGREB・KARLSRUHE・DUSSELDORF・LONDON・HEIDELBERG・POLSKA・HANNOVER・NORDBADEN・LEIPZIG・FRANKFURT・MUNCHEN・NURNBERG・STUTTGART・LEIPZIG・FIRENZE・VENEZIA・BERLIN・STOCKHOLMS・HAMBURG・BAYREUTH

日本地誌略字引大成 明治11年 127丁 上州高崎田町文心堂刊 8 x 17 cm横本 全国国絵図、産物銅版有

大日本道中記大全 明治23年 銅版 地図名所アトラス 9 X 12 cm 51丁

改訂増補大日本地図 明治24年 市街地図多数 銅版
東京誌料分類目録その1(一般図書) 昭和36年 江戸城関連御膨大な地図絵図目録
大日本道中行程細見記大全 折丁 19 x 648 cm 末尾1丁欠朝鮮中央で終了
大日本早引細見絵図 明治12年 37 x 165 cm
武蔵国全図 弘化3年高柴三雄識明治8年再版 37 x 52 cm 木版色刷
名勝図解東京御絵図全 明治18年 銅版色木版 72 x 97 cm
東京全図 明治24年 江戸盛衰図・江戸沿革図・江戸図、図式有 表紙付 75 x 105 cm
京都御上洛御用掛り御役人付 文久2年10月改 36 x 44 cm 瓦版
岩代国安達郡岩角山境内全図 石版 52 x 60 cm
韓国釜山港市街明細図 明治40年 39 x 54 cm 色刷
改正増補東京区分新図 明治12年 3万分1 銅版 64 x 50 cm 縦図袋付
西国熊野路廻り道中記大和七在所道中記 引札 16 x 44 cm 木版
京絵図 万延2年春改正 木版 32 x 46 cm
信濃国善光寺略絵図 松葉軒長谷屋久左衛門 木版 40 x 60 cm
奈良名所絵図 木版赤手彩色 28 x 42 cm
播州石宝殿真景 木版 36 x 48 cm
摂津国生田大神宮境内之絵図 木版 36 x 47 cm
摂州須磨浦真景細見図 木版 嶋屋儀左衛門 35 x 49 cm
城州八幡山案内絵図 長浜家蔵版 木版 36 x 48 cm
石山寺名所之図 木版 33 x 44 cm
京絵図 木版 三条通大橋東詰茶屋久左衛門 29 x 41 cm
防州岩国錦帯橋之景 木版色刷 30 x 46 cm
軽井沢上野原土地計画図 38 x 55 cm
京都明細地図 明治35年 石版色刷 53 x 79 cm
陸軍歩兵第6中隊測量演習原図7枚 鉛筆書 明治34年 伸写図
改正大日本明細道中全図 銅版 明治初期 北海道は札幌県、根室県、函館県 37 x 170 cm
大日本職業別明細図 東京都 田無青梅五日市立川東村山拝島福生羽村氷川国分寺等 55 x 79 cm
上海附近詳細図 昭和12年 55 x 80 cm
青森市街地図 大正14年 31 x 54 cm 袋付
台湾実測地図 明治28年 裏占領地日本地図
改正測量皇国明細全図 明治24年 銅版色カッパ刷 51 x 106 cm
都市地図県地図等44枚 仙台名古屋京都世界東京鎌倉伊豆広島奈良等
地形図 5万37枚・20万3枚・2, 5万3枚・1万1枚・京都近傍・富士裾野

2・古文書・古典籍

駿台雑話全5冊 寛延3年 木版
会津資料叢書会津旧事雑考 全3冊 大正9年 非売品 和装
会津資料叢書 奥州会津檜原軍物語
・新宮雑葉記・会津合戦記・母木抄・芦名家由緒考証・会津編年略 大正8年
薩肥伝心録全6冊 明治10年 西南戦争絵入木版本
金華山小誌 大正8年 絵入活字和装本 24丁 陸前国牡鹿郡

3・印刷資料

百万塔 複製箱入り 高さ21cm 陀羅尼経無

昭和5-9年ロンドン印刷年鑑 4冊 当時のイギリスの高度な印刷技術を知る多彩な別刷見本



PENROSES ANNUAL VOL30-35 1930-1935 年

包装紙 竹尾製 銀厚紙9枚・色箔用紙14枚 80X100枚

謄写版 本体、やすり板、インキパン、インキローラー等一式

内閣印刷局創立70年記念試作品集 銅版画17枚内15枚、各作品作者明記

4・錦絵・引札・双六・絵葉書

新吉原江戸町金瓶楼今紫ノ座敷三曲之図 芳虎三枚続

日清戦争錦絵 3枚の内2枚 海軍将校等征清の戦略討論する図（地図が2枚机の上に置かれる）・
金州城落城之図清親・牛荘城占領今田中佐戦闘之図・鳳凰城陥落敵兵遁走図・その他4組

伊勢古市備前屋牛車楼踊之図 木版色刷 明治版 38x50cm

武者引札 梁川町靈山石本舗北徳 明治45年 38x52cm 石版色刷

武者引札 東京市京橋区八丁堀仲町口入所中西小 郎 26x37cm

美人引札 諏訪郡下諏訪町伏見屋鎌次郎本店 明治43年 26x37cm

子犬引札 足利町4丁目池澤屋商店 26x37cm

錦絵の彫と摺 平成6年 芸州堂 154頁 和装

渥美大童版画5点肉筆4点 埼玉忍版画家・棟方志功弟子

東京誌料分類目録その2(錦絵) 東京都立日比谷図書館 昭和35年 錦絵絵図地図目録

団扇絵 7枚 美人・戦闘機・国民進軍歌 27x26cm

五十三次名所図会三十九岡崎矢作川矢作橋 岡崎城遠望 広重 明治24年

西南戦争錦絵版画 2枚

宮田三郎木版画集 北海道・東海道・奈良と紀州全60枚 城は6枚収録別記 大型の木版図集である。横本全品台紙入。美しい日本の原風景が描かれる。

法隆寺の庭・不退寺・広橋峠梅林・吉野山・斑鳩の里・猿沢の池・室生寺・長谷寺・唐招提寺・薬師寺・さぎ池の浮見堂・龍田川・談々神社・明日香の里・二月堂・紀三井寺・奥新和歌浦・串本橋杭岩・那智の滝・高野山御影堂・忍野の富士・山中湖の富士・大瀬崎の富士・富士川の富士・日本平の富士・茶臼・館山寺・宇治橋・答志島より・大王崎・長良川鵜飼・養老の滝・浮見堂・大阪御堂筋・函館の坂・トラピスト修道院・大沼と駒ヶ岳・洞爺湖と有珠山・羊蹄山・定山峡・北海道庁旧本庁舎・時計台・小樽の運河・利尻富士・大雪山連峰・摩周湖・オンネトー・釧路湿原・原生花園と斜里岳・知床五湖・納沙布岬・牧場の朝・襟裳岬以上53枚外函50X66cm

5・軍事資料・武器武具

参謀本部日本戦史 姉川役・山崎役 昭和54年復刻

戦記本 日本の国防力・信長の戦い・戦国合戦の実相・諸国の合戦争乱地図東日本西日本・

横浜貿易新聞夕報 明治25年9月2日 裏**新式獵銃の絵入広告**金丸謙次郎

英国歩操新式中隊全・生兵小隊全・大隊上・大隊中・大隊下 5冊タトウ入り 明治2年松園蔵版木版 陣形図赤黒2色刷

日露戦争石版画 数十枚一括

朝鮮の役水軍史 有馬成甫 昭和17年 297頁

口火薬入れ 銅製蓋付 本体径62mm高さ103mm巾14mm 両面福祿寿・漢詩彫刻

兵器制式図第1版—44版揃 大型実測図集 兵器学教程に多くの図面が収録されるが、これ程詳細な実測図は始めて、1枚実に43X59cm 軍刀・村田歩兵銃・村田騎兵銃・村田連発銃・信管・野砲・野砲架・山砲・山砲架・砲兵駄馬具・加農砲・加農砲架・攻城砲架・榴弾霞弾・加農砲尾機関・加農中心軸砲架・臼砲・臼砲砲尾機関・臼砲砲架・榴弾砲・榴弾砲砲尾機関・榴弾砲砲架・海岸砲弾・海軍砲弾・保智機輪廻砲・一尹四連諾砲・照星表尺・臼砲標準機・

6・城

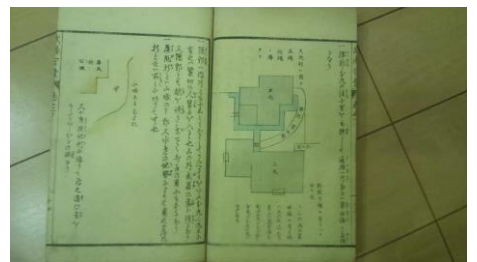
大垣城古写真 7x10cm

姫路城古写真 手彩色 10, 5x15cm

熊本籠城日誌 明治10年 2月3日から4月16日 肉筆記録 分析はいずれ

出羽国村山郡最上会新庄山形城主得皆入部 最上33代系図事歴

武者言葉下巻城郭法 安政5年 木版色刷 山城・平山城・平城・天守・3重・2重・平櫓・水櫓・落し枡形・塀筋違・塀貫木・武者走石打棚・切戸塀・狭間・袋狭間・門前土橋・引橋・刎橋・切橋以下全頁に城郭用語と木版絵図 いずれ復刻したい。



水戸城旧観 35 X 134 cm 肉筆 湖畔から遠望、3層2層単層櫓城門描画

楠正成金剛山城壁書 23か条 延享2年写 折丁 32 x 390 cm

会津鶴ヶ城加藤保科両家旧城図 加藤長四郎 明治39年石版地図 67 x 81 cm 袋付

会津鶴ヶ城御本丸明細図 加藤長四郎 明治35年石版地図 88 x 93 cm 袋付

少年倶楽部付録模型夜光名古屋城の作り方 昭和6年 30 x 46 cm

オールドノリタケ名古屋城飾皿 径21 cm額36 x 41 x 8 cm

宮田三郎木版画集名古屋城・岡崎城・浜松城・大阪城・松前城・彦根城 大胆な黒線を基調とした豪快な大型城郭版画、橋本興家とともに城郭版画としては双璧か、すべて揃えたいが限定100部では難しい。



名古屋城・岡崎城・浜松城と動物園・大阪城・彦根城・松前城

絵葉書 勝山城跡御堀（小倉名勝）・米沢市松が岬公園南堀・広島市街と天守・千秋公園ヨリ佐竹家別荘・千秋公園内各地12枚揃

城郭報告書等城郭文献

図説犬山城・ドキュメント戦国の城・秀吉の御所参内聚楽第行幸図屏風・富山城の縄張と城下町の構造・甲斐の山城と館上下・週刊日本の城1-78巻・復刻古地図近江八幡惣絵図・龍野城下町絵図・高岡町図・土浦城下町絵図・佐倉城下町絵図・小田原市郷土文化館研究報告25国史跡石垣山一夜城跡現況調査報告等・同35・大垣市埋蔵文化財平成元年曾根城本丸跡・海老ヶ島城跡茨城・長沼城跡栃木・水戸城跡・秋元城跡Ⅰ・角淵城Ⅱ遺跡・南雲御殿遺跡棚下砦跡・甲府城跡楽屋曲輪地点・史跡津山城跡保存整備事業報告書Ⅰ・刈谷城築城480年記念誌・解説近世城郭の研究・篠山城石垣符号の研究・国宝弘前城二ノ丸辰巳櫓寅櫓及三ノ丸追手門維持修理報告書・重要文化財松山城（高梁城）防災施設保存修理工事報告書・北九州の城と歴史・此隅山城を考える第3集・

富原文庫では市販解説書を除くすべての城郭文献を築城史は年代別、地方城郭は県別、城別に分類し収納しています。今後も各位の情報提供、交換資料をお願いします。

外車、高級自転車乗りの友人からダイハツのオート三輪の**エンブレムが大阪城**天守であることを教えていただき、画像をいただいた。これはコレクション無理かも。

7・群馬郷土資料

前橋市全図 昭和11年

上州那波郡柴町大沢増五郎引札 明治25年新旧略暦

上野国妙義金洞両山全図内題上野国妙義山真景 石版袋付 40 x 54 cm

8・資料

幟旗 75 x 583 cm 絵柄龍虎 龍虎の絵柄の縁取りが銀装飾

最勝閣絵葉書2種 骨董屋さんが城絵葉書として持ち込んでいただいた中に、最勝閣という3階建ての建物があった。調べてみると大坂四ツ橋にあった立正閣を明治43年に移築したもので、静岡県三保にあり、木造5階建外観3階建という建物で竜宮城のようであったという。昭和4年に取り壊された。建物は宗教家田中智学主催の国柱会本部であったが、信者がすごい、与謝野鉄幹夫妻、幸田露伴、北原白秋、武見太郎、尾上菊五郎、近衛文麿、宮沢賢治という。王道楽土の思想は東条英機によって大東亜戦争へとつながる。

幕府制度史の研究 昭和58年 406頁 家格制・寺社奉行・目付・側用人・老中等

東海道線汽車時刻及賃金表 明治31年8月1日改正 神戸、新橋間上下線各5本、北陸線豊川線横須賀線付、神戸新橋間3等賃金は4円 19 x 52 cm

日本古文化研究所報告第3阿蘭陀風説書の研究 昭和12年 290頁

東洋文庫論叢第9文禄元年天草版切支丹教義の研究 本篇と附録複製本 昭和3年

長崎三百季間外交編年事情 明治35年 福地源一郎

貿易史上の平戸 大正6年 村上直次郎 181頁

吉利支丹洋画史序説 岡本良知 1953年 限定300部

きりしたん版 天理図書館 善本写真集2 昭和28年

訂正増補日蘭三百年 村上直次郎 大正2年 183頁

長崎年表第1巻 昭和10年 349頁

長崎志正編 長崎実録大成全16巻 昭和3年 619頁

着物南蛮船 羽織表

着物横木瓜 富原家家紋 羽裏は名家だるま図

武田信玄軸 芳年 肉筆

大震災印象記大正むさしあぶみ 川村花菱作川村耕花画耕花書名本 大正13年 挿絵数10枚 元箱入 献呈本

あとがき

梅雨の合間に内出城の調査を実施した。夏の調査は朝の涼しいうちにと考えたが、現地は一面の藪で藪蚊に襲撃された。幸い長袖、長ズボン、帽子という調査スタイルに防虫スプレーとキンカンでほとんど被害はなかった。数人の方の敷地に許可をいただき、案内いただいたが、皆さん農作業では防虫ネットを被って居られた。内出城は富原文庫所在地の安中榛名駅前の秋間みのりが丘に隣接する文庫から近隣5分ほどの城跡である。宅地造成で小生が転居した5年前にはすでに消滅していた。縄張図の作成と旧観の復元図を作成する予定である。全国4万もある城跡の1つに過ぎない内出城でそこまでやるのは一部が小生の転居前とはいえ、秋間みのりが丘団地で壊されているからである。このようにして、消えた城は後を絶たない。

今月は東京古書会館に初参戦、平和島と骨董ジャンボリーに対応、内出城調査、安中展示会終了と上田市真田氏歴史館展示対応と目まぐるしい月であった。骨董展示会では多くのリクエストをいただいた。骨董業界でも古地図専門店として認知され、全国の業者さんから紹介をいただく、古書業界でも安中市唯一の古書店、全国唯一の古地図と城の専門店、全国唯一最大の古地図と城の博物館を目出している。現役時代の開発で世界唯一、ナンバーワンでなく、オンリーワンを目出した習慣が染みついているようです。ということで、多くの骨董市、入札会、競り市に参加さ

せていただき、思いのほか多くの成果を得ました。城郭版画、城郭資料、古地図、砲術資料ともに基本的な資料を収蔵できたようです。今も多くの城郭図を発注しています。縁を得て収蔵することが出来ましたら報告します。博物館資料として残すか否かは別にして、これらの発見情報があれば対応できません。古地図と城郭資料を放出される際はぜひご相談ください。また、城郭資料収蔵の為、城郭、砲術資料以外はすべて処分しますので、当文庫所蔵資料で必要なものがあればご連絡ください。順次、骨董市や目録に掲載する予定です。

発行所

しろはく古地図と城の博物館 富原文庫

379-0109

群馬県安中市秋間みのりが丘5-73

090-2722-4689(しろはく)

FAX027-315-4689(しろはく)

shirohaku@kym.biglobe.ne.jp

ミュージアムショップ

古地図と城 古書肆 城郭文庫



オールドノリタケ名古屋城飾皿入額